

記号	工事件名	工種	規格	数量	単位	発注者	元請業者
①	産業廃棄物最終処分場(2工区)	RBP工法		1,640.7	m ²	沖縄県南部広域行政組合	株仲本工業
		地盤改良工	φ1000×2軸	704.0	本		
			ΣL	8,839.0	m		
②	主要地方熊本玉名線(その2)	RBP工法		4,459.0	m ²	熊本市役所	ツチヤ・マイ・野田市JV
③	九州新幹線(西九州)新長崎T	RBP工法		100.0	m ²	九州新幹線運輸局	鹿島建設
④	九州新幹線(西九州)長崎駅	RBP工法		320.0	m ²	九州新幹線運輸局	清水建設
⑤	平成29年度市道土谷鶴鼻線	土工		2,196.5	m ³	長崎県松浦市役所	東興産業
		RBP工法		404.0	m ²		
				380.0	m ²		



九州新幹線(西九州)新長崎T
九州新幹線(西九州)長崎駅
平成29年度市道土谷鶴鼻線

今年は創業六〇年、節目の年を迎えました。サンクマブも一〇〇回という節目の回を迎えています。この間多くの幹事さんのお骨折りで楽しい会として続けてこられたと思っています。

支店のゴルフを愛する方に参加を呼びかけています。暑い暑い八月最後の二五日(土)・二六日(日)木曽の民謡の中で夏でも寒いよと唄われます木曽御嶽で暑さ知らずのプレーを楽しみましょう。一〇〇回メインコンペ四名の参加者を見込んでいます。

人の集まるところに元気あり、未来あり。本社、支店別に参加者を募っています。宜しくお願ひします。

ゴルフ場
木曽御岳CC

RBPウォール工法の営業紹介をさせて頂きます。平成二八年四月にNETIS協会を設立、同一一月にNETIS登録完了と営業活動のターゲットも他工法からの変更協議から折り込み営業へ変更し、受注拡大を目指してきました。協会員各社様の物件紹介等により、今年度以降発注されそうで

す。これも会社の関係者皆様、協会員各社の協力なしでは実現できないと思われます。有難うございます。今年度の成果が左記の通り予想されます。

九州支店 営業部 小川 利夫

営業最前线

工法営業紹介

事業所だより

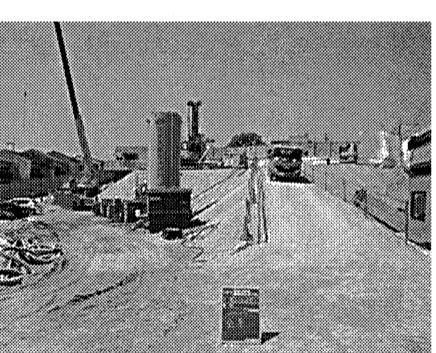
各支店の皆様、協力会社の皆様、日々の業務お疲れ様です。

今年三月一八日には新名神高速道路が神戸JCTから高槻JCTまで開通し、中国道ルートと新名神ルートが選べるようになりました。また、高槻ICができたことにより大阪支店まで一〇分程度とアクセスが大改良となりました。

大阪支店工事部では、薬液注入工・高圧噴射工(MJS工法・PJJG工法)・立坑構造工・障害物撤去工・鋼矢板打設工・地中連続壁工(TRD工法)・推進工・太陽光発電設置工と多種

多種の工事を行っています。工事部の現場は一次下請が多く常駐を要求されますので部員が足りない時があります。現在の工事部員は新人二名を含む七名です。工事としては障害者施設内での上空制限がありでの施工でした。また、施設内での作業で

私事ではありますが、四月中旬から初めての地中連続壁工(TRD工法)を担当しています。工事としては障害者施設内での上空制限がありでの施工でした。また、施設内での作業で



TRD本体機I型のリーダーを取り外して低空仕様の施工となりました。TRD本体機は神守研究開発センターの増田係長がオペレーターを行い操作は慎重に進んでいます。これからは益々気温が上昇し暑い日々が

最後になりますが、これからに進んでいます。次第です。

TRD本体機I型のリーダーを取り外して低空仕様の施工となりました。TRD本体機は神守研究開発センターの増田係長がオペレーターを行い操作は慎重に進んでいます。次第です。

大阪支店 工事部 係長 松芳 和彦

新規開拓事業部 大阪支店 工事部 川野 真聖

★新しい仲間 四月九日 諸根 宏哉 東京支店 埼玉営業所 生明 勇也 東京支店 開発部

新規開拓事業部 大阪支店 工事部 川野 真聖

新規開拓事業部 大阪支店 工事部 川野 真聖

☆お疲れ様でした 四月三〇日 奥澤 翔太 名古屋支店 工事部

新規開拓事業部 大阪支店 工事部 川野 真聖

共済会だより

申込先
神守研究開発センター
伊藤まで
○五六七一三五一三三七三

学習しました。
・走行中ラジオで給食センターの改修で一六日から大田市の小学校への給食再開を報じていました。改めて地域の底力、日本の素晴らしさを学習しました。

・高尔夫で給食センターの改修で一六日から大田市の小学校への給食再開を報じていました。改めて地域の底力、日本の素晴らしさを学習しました。

・往復二〇〇キロ車を走らせながら自然を抑え込もうとする人達がいました。
・往復二〇〇キロ車を走らせながら自然を抑え込もうとする人達がいました。

・紫のミツバツツジが我迎えました。

・紫のミツバツツジが我迎えました。
・紫のミツバツツジが我迎えました。

・紫のミツバツツジが我迎えました。

き、そして建設業ほど自然との共生の職業はない、我が天職と誇りと自信を持ちました。

みながらこの先も建設人として建設を通して社会貢献していくたい。五月に入ると創業六〇周年、建設業の使命大、生かされし命を大切にしなくては。震災の被害が思つたより小さかつた事に安堵。緑の大地、自然に感謝を忘れない一杯を空ける。

・前向きに只々走る山陰道地の被災が思つたより小さかつた事に安堵。緑の大地、自然に感謝を忘れない一杯を空ける。

・前向きに只々走る山陰道

・天地人 神仏守れと手を合

・宍道湖に 良く来ましたと励まされ

・紫のミツバツツジが我迎えました。